介護新聞２００８年11月６日付

花凪屋繁盛記

連載１

人と人とがつながって

NPO法人在宅生活支援
サービスホーム花凪
木村美和子理事長

開店して2年半がたちました

ＮＰＯ法人在宅生活支援サービスホーム花凪の五番目の施設である「ばりあふりーしょっぷ花凪屋」という小規模多機能店舗がオープンしたのは、二〇〇六年五月一日でした。場所は札幌市西区平和の住宅街にある五階建てアパートの一階です。

ここは、「花凪下宿」の住人や地域の人たちが自由に買い物をしたり、コーヒーを飲んだり、食事をしたり、おしゃべりをしたりして、のんびり過ごせる場所であるとともに、高齢者それぞれの「できる」に合わせて働いたり、ボランティアをしたりできる場所です。

六二・七坪の店舗には食堂と喫茶店があり、エステルーム、介護保険外のミニデイサービスと託児スペースもあります。加えて、ヘルパーステーションと社会福祉士よろず相談室もあります。

リサイクル品を販売

一番スペースを割いているのはリサイクルの販売品です。リサイクル品は、地域の方が「良かったら役立ててください」と、持って来てくださった物が主ですが、私を含めて花凪スタッフや会員、立ち上げサポーターなどさまざまな人たちからの品物がお店にあふれています。

リサイクル品販売の目的は、「使われなくなった品物を活かす」ということで、「使われなくなった物が、必要とする人に使ってもらうことで、再び価値が見出される。そんな幸福な出会いを繰り返しながら、物も人と同じように最後まで生きて行っています。

ですから、古物商の『鑑札』は持たず、同じように思っていただける方からの寄付のみをお受けしています。当初は、「処分するのにお金がかかるからあげる」とか、どう見てもゴミとしか見えない物を持ち込む方もいましたし、今でもたまにいます。そのような方には、花凪屋の趣旨をお話しし、丁重にお断りさせていただいています。

欲しいと思って購入し、愛着を持って使っていた物に未練を残しながらもくださるのが、あらまほしき姿かな、などと少々生意気ながら考えています。

「大切に使ってくださいね」の気持ち

つい先日のことでした。二十代後半とおぼしき女性が、「ドレッサーをもらっていただけますか？」と言いながら来店されました。物を拝見するととても素敵だったので、大喜びでいただきました。車からドレッサーを降ろしてくれたご主人も「ありがとうございます」と丁寧に頭を下げられ、私の方が恐縮してしまったのですが、実はそのドレッサーは奥様の嫁入り道具で、来年小学校にあがる息子さんの机を購入したら置く場所がなくなったので、ということでした。

お帰りになる時、奥様は「買ってくださる方がいたら、大切に使ってくださいねって言ってくださいね」と言いながらドレッサーをなでていました。私は「わかりました」と応えながら、この気持を受け止めてくれる方にお売りしようと決めていました。

今年になってから、他区や他市町から車に積んで品物を持って来てくださる方が増えました。人づてに聞いて

花凪マスコットの「ぷぅ」

イラスト・木村玲

という方が多く、少しずつ「花凪屋」の輪が広がっているのを実感させられています。本当に感謝、感謝です。

おなじみさんは応援団

みなさんに支えられて、こうして今ある花凪屋ですが、実はオープン初日から、来店したお客様に

「いつまでするの？」

「ここは、短期営業が多かった店舗だからね」

「こんなに安くてやっていけるの？」

「つぶれないように頑張ってね」

などと存続を危惧されたり、心配半分で励まされたお店です。言われるたびに不安が高まる一方でしたが、不思議なことにそう言った人たちが今では定期的にお店に通ってくれる、おなじみさんになってくださっています。

今年五月の開店二周年セールの時、おなじみさんの一人にこう言われました。

「この間シャッターが閉まっていたので、とうとうつぶれたんだと思ったよ。従業員慰安のためだったんだね。ホッとしたよ」

その後、

「心配で、しょっちゅう来ているうちにすっかり常連になっちゃったね」

と、豪傑笑い。

そんな話をしながら、巧妙に値引き交渉を始めたりするおなじみさんがとても好きです。

花凪屋の一番初めのチラシに書いた通り、「一人ひとりの気持ちいい、地域の福祉につながるための一助」と花凪屋はなれるのか？

人と人がつながっていくことで、周辺はどういう風に変わっていったのか？

詳しいお話は、次回から。

きむら・みわこ　帯広市出身。北星学園大卒。社会福祉士、介護福祉士、ケアマネ。保育所、児童養護施設、特養等勤務を経て、12年７月在宅生活支援サービスホーム花凪を設立し、同12月ＮＰＯ法人認証取得。高齢者下宿や訪問介護、通所介護、移送サービス、宅老・託児、保険外ショートステイ、「ばりあふりーしょっぷ」「バリアフリー居酒屋」などを展開。ホームページhttp://www13.plala.or.jp/hananagi/。